

久保田チェンバロ工房 シグネチャー鍵盤楽器シリーズⅠ

初期ピアノとの出会い

西山まりえ

タンゲンテン・フリューゲル /
ジルバーマン製フォルテピアノ
久保田彰制作

Marie Nishiyama
Tangentenflügel 2024
(tangent piano)
/ Fortepiano
by Gottfried
Silbermann 2025
made by
Akira Kubota

鬼才・西山まりえが来てきた、数々の歴史的鍵盤楽器が登場!

久保田チェンバロ工房スタジオにて

2026. **3.29** (日) 11:00/14:00開演 (10:30/13:30開場) ※各回60分休憩なし
今井館聖書講堂 (駒込)

チケット料金(全席自由): 一般 前売 4,500円 当日 5,000円 / 学生 2,000円

チケット発売日: 2025.12.22 (月)

ご予約・お問合せ: ムジカキアラ 03-6431-8186 (平日10:00-18:00)

プレイガイド: イープラス <https://eplus.jp/syokipianotonodeai/>

主催: OMF 協力: 久保田チェンバロ工房

※本就学児のご入場はご遠慮ください。※曲目は変更になる場合がございます。
※学生券は小学生～大学院生(25歳以下)を対象とさせていただきます。



久保田チェンバロ工房による研究と復元から生まれた
多様な鍵盤楽器シリーズがいよいよ始まります！

——第1回 タンゲンテン・フリーゲルとジルバーマン・ピアノ——

チェンバロが徐々にフォルテピアノへとその役割を譲っていく 18 世紀。鍵盤楽器史の大きな転換点となったこの“狭間の時代”には、人々が新たな時代の趣味にかなう音楽表現への夢を託した。久保田彰氏の長年の経験と独創的な発想から生まれたこれらの楽器は、鈴のように澄み渡るパッセージ、驚くほどのダイナミックな表現、そして当時の聴衆をも魅了したであろう夢幻的なピアノッシモなど、多彩な響きを宿す。

会場は楽器の息づかいまで明瞭に味わえる贅沢な空間・今井館聖書講堂。

プログラムには、フリードリヒ大王が入手したこれらの楽器を、実際に演奏したと伝わる C. P. E. バッハ、そして革命期フランスに生き、フォルテピアノのための作品を残したバルバトルを取り上げる。当時のフランスではピアノは不評だった、と語られることもあるが、その真相はいかに——。

謎に満ちた古の鍵盤楽器を巡る音の旅が、いま始まる。

プログラム

C. P. E. バッハ

ヴェルテンベルク・ソナタ 第1番 イ短調 Wq. 49/1, H. 30

スペインのフォリアによる12の変奏曲 ニ短調 Wq. 118/9, H. 263

Carl Philipp Emanuel Bach:

Württembergische Sonate Nr. 1 a-Moll, Wq. 49/1, H. 30

12 Variationen über die Folie d'Espagne, d-Moll, Wq. 118/9, H. 263

C. バルバトル

クラヴサン曲集 第1巻 ハ短調 デリクール／ブロンニュ

マルセイエーズ行進曲と《サ・イラ》ハ長調

Claude Balbastre: La d'Héricourt / La Boullongne

Pièces de clavecin, Premier livre, do mineur

Marche des Marseillois et l'Air “Ça ira”, do majeur

西山まりえ Marie Nishiyama

チェンバロとヒストリカル・ハープ、2種の古楽器を自在に操る稀有なプレーヤーとして世界的に知られ、数多くのコンサートや音楽祭に参加。また録音も多数リリース。東京音楽大学研究科修了後、ミラノ市立音楽院、パーゼル・スコラカントールムに留学。第11回山梨古楽コンクール・チェンバロ部門第1位および栃木「蔵の街」音楽祭賞受賞。第23回同コンクール審査員。「信州アーリー・ミュージック村音楽祭」芸術監督。武蔵野音楽大学非常勤講師。

《次回公演予定》

2026年12月5日(土) 今井館聖書講堂

久保田チェンバロ工房 シグネチャー鍵盤楽器シリーズⅡ 中世鍵盤楽器との出会い

Kubota Cembalo Workshop Signature Keyboard Instrument Series I
Tangentflügel (tangent piano) / Fortepiano by Gottfried Silbermann
made by Akira Kubota
Marie Nishiyama